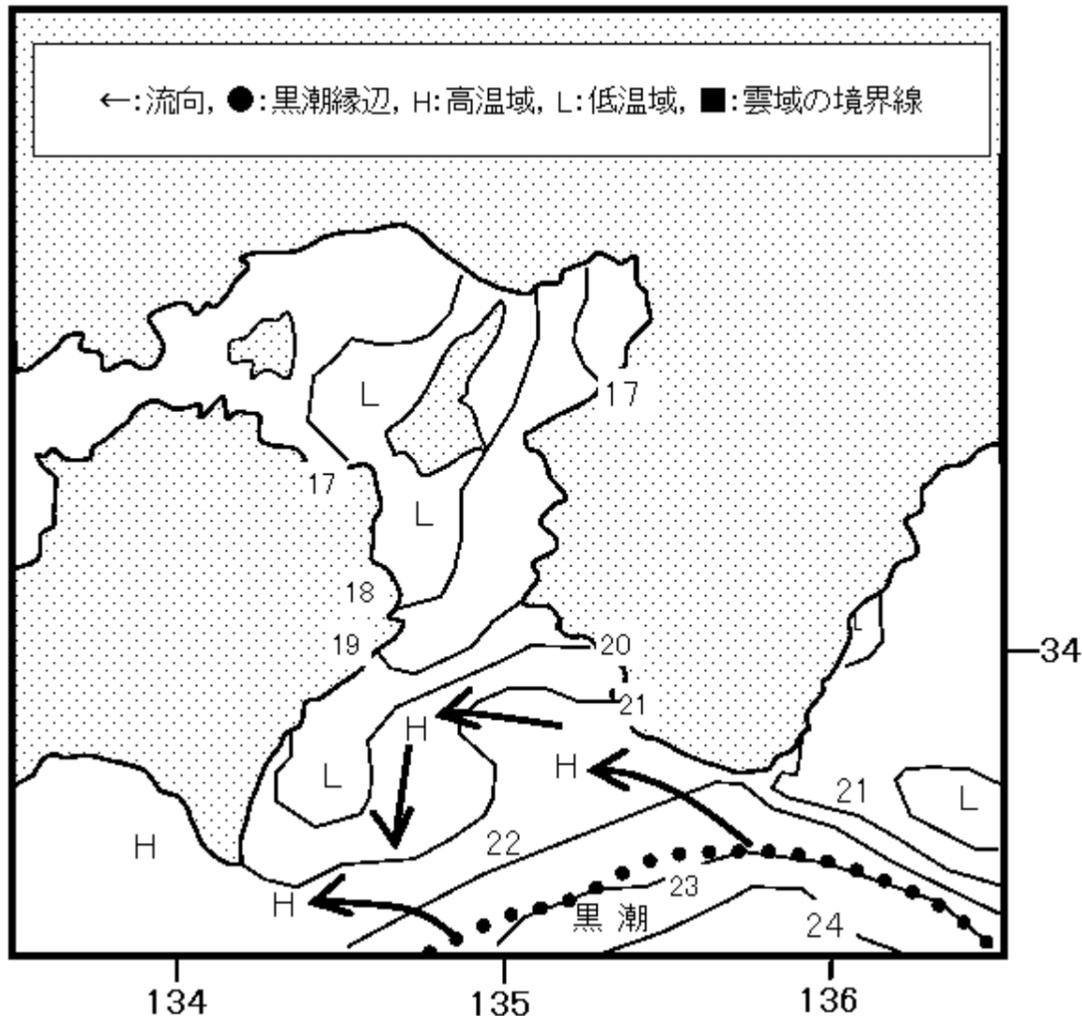


1. 海況の経過

5/28 発行 海上保安庁海洋情報部海洋速報によると室戸岬沖でやや離岸し、潮岬沖で接岸している。



上に和歌山県の人工衛星画像海況速報(H19.5.28)を示した。

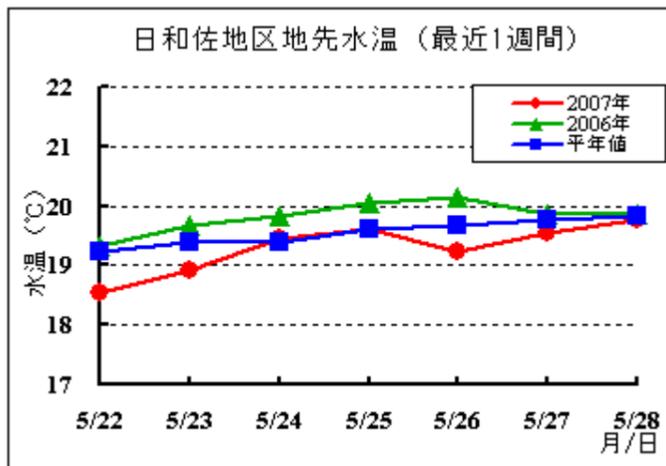
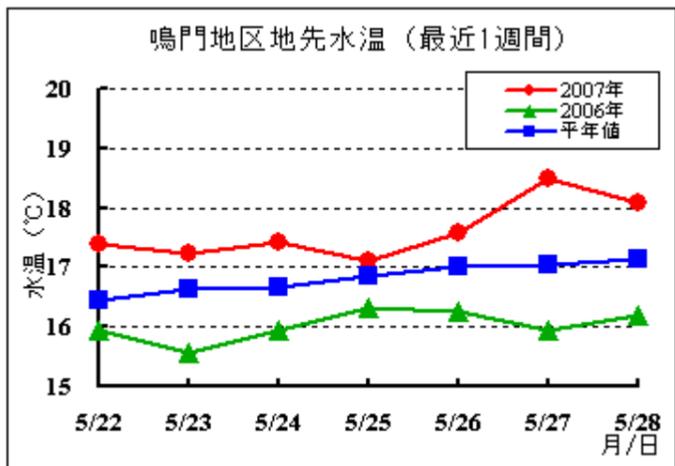
表面水温は播磨灘が16~17°C、紀伊水道内部が17~18°Cで広く覆われ、外域が18~21°Cである。紀伊水道内海系水が海部沿岸を南下している。潮岬沖の黒潮が接岸しているため、和歌山県側から21°C台の黒潮系暖水が紀伊水道外域中央部に反時計回りに流入している。

漁業調査船「とくしま」が5月15,18,21日に行った海部沿岸海区の海洋観測結果では、水温は表層及び10m層は「やや低め」の18.9°C及び18.6°C、20m~50m層は「平年並み」の18.6°C~17.9°C、100m層は「やや低め」の15.2°Cであった。

5月23日に行った海部沖合海区の海洋観測結果では、水温は表層では「やや高め」の21.7°C、10m~100m層は「平年並み」の21.0°C~17.1°Cであった。

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」~「やや高め」の17.1~18.5°Cで、日和佐地区が「やや低め」~「平年並み」の18.6~19.8°Cで、牟岐地区は「やや低め」~「やや高め」の18.9~20.0°Cで推移した。



## 2. 漁況の経過

内海系水の南下に伴い海部沿岸下灘ではアカクラゲ、ミズクラゲが大量に発生している。

**小型定置網:**海部沿岸で、マメ主体にマアジが 34.6トン(1日1隻あたり 260kg)、マイワシが 6.6トン(同 180kg)、ウルメイワシが 1.4トン(同 50kg)、大主体にイサキが 0.8トン(同 126kg)水揚げされた。依然マメアジの豊漁が続いている。また、マイワシにまとまった漁獲がみられている。

**大型定置網:**海部沿岸で、特大主体にマアジが 1.3トン(同 186kg)、メジロが 0.7トン(同 98kg)水揚げされた。

**釣り:**海部沿岸で、イサキが 0.7トン(同 7kg)水揚げされた。カツオ漁は低調に推移している。

**パッチ網:**紀伊水道で、シラスが 19.6トン(同 192kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋)5月17日～5月23日 県下8漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻あたり漁獲量(kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	マアジ	133	34,550	260	マメ主体
		マイワシ	37	6,643	180	
		ウルメイワシ	29	1,444	50	
		イサキ	6	755	126	大主体
大型定置網	海部沿岸	マアジ	7	1,300	186	特大主体
		メジロ	7	685	98	
釣り	海部沿岸	イサキ	106	705	7	
パッチ網	紀伊水道	シラス	102	19,550	192	

### その他県内漁模様(5/28 聞き取り)

**モジャコ漁:**モジャコは依然として低調に推移している。

**その他:**漁業調査船「とくしま」の5月28日の海洋観測中に蒲生田岬沖から由岐沖にかけて11～13cmのゴマサバおよび10cmのカタクチイワシの濃密な魚群がみられた。

### 週間予報:

黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」、潮岬沖で「接岸」する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「やや高め」の18～19℃、日和佐地先で「平年並み」の20～21℃で推移する見込み。

### 他県情報:

和歌山県のひき縄でカツオが27.1トン(1日1隻あたり32kg)、釣りでイサキが4.5トン(同73kg)、パッチ網でシラスが14.9トン(同216kg)水揚げされた。

高知県芸東地域の大型定置網で、メジロが55.4トン、マアジが6.9トン、さば類が8.2トン、カタクチイワシが1.0トン、マルソウダが352.5トン水揚げされた。

\*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上